

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
イギリス階級社会の成り立ちと現状	01 川崎 明子
『眺めのいい部屋』から見る20世紀のイギリスの人々	01 川崎 明子
シェイクスピアの四大悲劇の確立について	01 川崎 明子
『嵐が丘』の翻案化	01 川崎 明子
イギリス文学に見る女性の地位向上の取り組み	01 川崎 明子
『オリヴァー・ツイスト』から見る19世紀イギリス —産業革命がイギリスにもたらしたもの—	01 川崎 明子
紅茶からみるイギリスの階級	01 川崎 明子
アメリカンコミックスの歴史	02 大淵 利春
サッカーの歴史	02 大淵 利春
英語を勉強としない方法	02 大淵 利春
ディズニー・プリンセスにおける女性の在り方	02 大淵 利春
オスカー・ワイルドの童話について	02 大淵 利春
テニスの歴史	02 大淵 利春
写真と西洋の絵画について	02 大淵 利春
ワイルド作品に見る自己犠牲	02 大淵 利春
オスカー・ワイルドの自己犠牲精神について	02 大淵 利春
イギリス・ファッションの歴史	02 大淵 利春
『イントゥ・ザ・ワイルド』—なぜ人々は旅にでるのか—	02 大淵 利春
ディズニーについて	02 大淵 利春
ワイルド作品からみる19世紀イギリスの歴史と日本との相違点	02 大淵 利春

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
イギリスの鉄道事業 日本との関連	02 大淵 利春
英国紳士とスポーツ	02 大淵 利春
Emily Dickinson 研究	03 東 雄一郎
ウィリアム・フォークナー論	03 東 雄一郎
アーネスト・ヘミングウェイ研究 — <i>In Our Time</i> を中心に —	03 東 雄一郎
ウォルト・ディズニーの世界	03 東 雄一郎
ジョン・スタインベック研究	03 東 雄一郎
『若草物語』から見る女性像	04 本村 浩二
『アンクル・トムの小屋』にみる奴隷制度下の女性	04 本村 浩二
『めぐりあう時間たち』から見るフェミニズム	04 本村 浩二
アメリカン・コミックスに見る人種観の変化	04 本村 浩二
『キャッチャー・イン・ザ・ライ』における成長の兆し	04 本村 浩二
ピクサー映画から読み取れる男性像・女性像	04 本村 浩二
『ティファニーで朝食を』に関する一考察—ホリー・ゴライトリーの求めた自由	04 本村 浩二
ケイト・ショパンの『目覚め』における女性像	04 本村 浩二
語り手ニックの限界—『偉大なるギャツビー』に関する一考察	04 本村 浩二
異人種間結婚について	04 本村 浩二
『カラーパープル』から見る黒人女性の自立	04 本村 浩二
『ハックルベリー・フィンの冒険』における自由	04 本村 浩二
『カラーパープル』における黒人間の差別 とブラックフェミニズム	04 本村 浩二

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
<i>The Nick Adams Stories</i> における人種差別とイニシエーション	04 本村 浩二
『緋文字』にみるピューリタニズム	04 本村 浩二
ケイトショパンの作品から見る家父長制 —『目覚め』を中心として—	04 本村 浩二
『パッシング』における人種アイデンティティ	04 本村 浩二
狂乱の1920年代から読む『グレート・ギャツビー』—男女の価値観について	04 本村 浩二
『青い眼になりたい』から見る黒人女性の理想と現実	04 本村 浩二
『カラーパープル』から見る黒人女性の人生	04 本村 浩二
『目覚め』におけるエドナの自殺が意味すること	04 本村 浩二
『ある奴隷少女に起こった出来事』に関する一考察—黒人奴隷が女性として生きるということ	04 本村 浩二
『セールマンの死』から見るアメリカン・ドリーム	04 本村 浩二
『ライ麦畑でつかまえて』からみるアメリカ人と戦争	04 本村 浩二
『緋文字』と『くじ』から見るピューリタニズム	04 本村 浩二
『ヘルプ—心がつなぐストーリー』から見る黒人女性たち	04 本村 浩二
『地下鉄道』と『ハックルベリー・フィンの冒険』における逃亡	04 本村 浩二
『青い目が欲しい』における黒人少女の人種意識	04 本村 浩二
『グレート・ギャツビー』から見るアメリカン・ドリーム	04 本村 浩二
<i>The Bluest Eye</i> における悲劇性	04 本村 浩二
21世紀のアメリカ映画における人種的/性的マイノリティ	05 川崎 浩太郎
アメリカ映画における公民権運動	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学・映画・音楽における人種問題 — ジャンルという垣根を超えて	05 川崎 浩太郎

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
愛の価値観における日米比較研究－映画と歌詞を中心として	05 川崎 浩太郎
アメリカスポーツ界における人種問題	05 川崎 浩太郎
アメリカ映画におけるLGBTQ+表象－21世紀以降の作品を中心として	05 川崎 浩太郎
A Comparative Study of Dramas in the U.S. and Japan－How does national character influence production and works?	05 川崎 浩太郎
Mark Twain研究－家族・人種・階級を中心として	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学におけるナショナルアイデンティティと排除の構造	05 川崎 浩太郎
アメリカ映画におけるアジア人表象	05 川崎 浩太郎
LGBTQ+の地位向上に関する日米比較－21世紀映画作品を中心として	05 川崎 浩太郎
アメリカ映画におけるベトナム戦争	05 川崎 浩太郎
『テンペスト』研究－シェイクスピアの人生観	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』の悲劇性に関する一考察－ロミオを中心に	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』における女性の結婚観	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究－メタファーの観点からの考察	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究－悲劇的要素としての善意	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究－結婚と家族の在り方	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究－ジュリエットとは何者か	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究－ジュリエットの視点から	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』における親の情	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究－悲劇の要因としての善意のすれ違いの考察	06 逢見 明久

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
『ロミオとジュリエット』研究-シェイクスピアの人生観	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究-ロミオの価値観と人間関係の考察	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』における愛の形態	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』から見る愛と死	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究-人間関係の考察	06 逢見 明久
A Study of <i>Jane Eyre</i> by Charlotte Bronte - With reference to women's achievements in Bronte's era.	07 モート, セーラ
A Study of John Keats - with reference to his influence on the Pre-Raphaelite Brotherhood.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Salomé</i> by Oscar Wilde - with reference to decadence and aestheticism.	07 モート, セーラ
A Study of <i>A Clockwork Orange</i> by Anthony Burgess.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Pride and Prejudice</i> by Jane Austen - with reference to printing and publishing in her era.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Sense and Sensibility</i> by Jane Austen - with reference to the attitudes towards marriage in her era.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Pride and Prejudice</i> by Jane Austen - with reference to women's rights in the late eighteenth and early nineteenth centuries.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Persuasion</i> by Jane Austen - with reference to love and marriage in the late eighteenth and early nineteenth centuries.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Pride and Prejudice</i> by Jane Austen - with reference to fashion and culture in that time.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Sense and Sensibility</i> - with reference to women's accomplishments in that era.	07 モート, セーラ
A Study of 'Ophelia' by John Everett Millais and <i>Hamlet</i> by William Shakespeare.	07 モート, セーラ
A Study of <i>A Christmas Carol</i> by Charles Dickens - with reference to financial issues in the mid-nineteenth century.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Pride and Prejudice</i> by Jane Austen - with reference to the influence of industrialisation on fashion in the Regency period.	07 モート, セーラ
A Study of <i>The Mark on the Wall</i> by Virginia Woolf.	07 モート, セーラ
A Study of 'Ophelia' by John Everett Millais and <i>Hamlet</i> by William Shakespeare.	07 モート, セーラ

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
A Study of <i>Animal Farm</i> by George Orwell – with reference to social injustice and politics.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Sense and Sensibility</i> by Jane Austen – with reference to the marriage and inheritance system in her period.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Pride and Prejudice</i> by Jane Austen – With reference to marriage in the Regency era.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Persuasion</i> by Jane Austen – with reference to its naval background.	07 モート, セーラ
A Study of <i>The Tale of Peter Rabbit</i> by Beatrix Potter – with reference to children’s education in her period.	07 モート, セーラ
A Study of John Everett Millais’s ‘Ophelia’ and William Shakespeare’s <i>Hamlet</i> – and the popularity of the Pre-Raphaelite Brotherhood.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Persuasion</i> by Jane Austen – With reference to love and marriage in the late eighteenth and early nineteenth centuries.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Never Let Me Go</i> by Kazuo Ishiguro – With reference to human identity and cloning.	07 モート, セーラ
A Study of <i>Sense and Sensibility</i> by Jane Austen – with reference to marriage in the late eighteenth and early nineteenth centuries.	07 モート, セーラ
A Study of <i>1984</i> by George Orwell – with reference to the key word of ‘Doublethink’.	07 モート, セーラ
日本語と英語の差異	08 佐藤 真二
ゲール語についての研究	08 佐藤 真二
音楽から見る英米発音研究	08 佐藤 真二
オードリー・ヘップバーンの英語	08 佐藤 真二
アフリカ系アメリカ人の英語	08 佐藤 真二
映画からみる時代の変化と英語	08 佐藤 真二
イギリスの映画における英語発音とキャラクター像	08 佐藤 真二
アメリカの偉人における英語発音についての研究	08 佐藤 真二
映画の英語発音	08 佐藤 真二
スウェーデン、フィンランドの英語の研究	08 佐藤 真二

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
日本語と英語から考察する認知と思考の差異	09 北原 賢一
共感覚的比喩の日英比較:嗅覚と味覚の転用を中心に	09 北原 賢一
日本人の性格と英語力	09 北原 賢一
ポリティカルコレクトネスは言葉狩りか	09 北原 賢一
ジブリ映画の翻訳—比較言語的考察—	09 北原 賢一
英語に見られる性差別意識とPC表現	09 北原 賢一
日本語と諸言語の比較から考える方言の特質	09 北原 賢一
幼児から小学生への英語教育の必要性について	09 北原 賢一
英語の未来—消えゆくものと生まれてくるもの—	09 北原 賢一
文化や教育から見る日本とニュージーランドの違い —日本の英語教育の課題と発展—	09 北原 賢一
英語での指導による学習者の文法使用への影響について	09 北原 賢一
受動態の本質—グルジア語を中心に—	09 北原 賢一
文化は言語変化に影響を与えるのか	09 北原 賢一
日本の前置詞教育—at,in,onを中心に—	09 北原 賢一
日本語・英語・ドイツ語の丁寧表現と特質	09 北原 賢一
ワーズワースの人生観とスコットランド旅行	10 上石 実加子
ウィリアム・ブレイク—描いた世界が遺したもの	10 上石 実加子
ウィリアム・ワーズワースにおけるカッコウと自然について	10 上石 実加子
ウィリアム・ワーズワースの自然愛	10 上石 実加子
ウィリアム・ブレイクの宗教的概念	10 上石 実加子

令和3年度 英米文学科卒業論文 論題一覧 (指導教員別)

論 題	指導教員
ワーズワースがカルチャーにもたらす文化的美德	10 上石 実加子
ウィリアム・ワーズワースとロバート・ヘリック <i>"Daffodils"</i> について	10 上石 実加子
ウィリアム・ワーズワースの人生観、自然観を「虹」から考える	10 上石 実加子